

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月12日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	1,496	43.6	181	280.1	181	247.5	120	347.4
29年8月期第1四半期	1,041	—	47	—	52	—	26	—

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 120百万円 (320.9%) 29年8月期第1四半期 28百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	18.75	—
29年8月期第1四半期	3.78	—

(注) 1. 平成28年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	9,412	7,226	76.8
29年8月期	9,724	7,266	74.7

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 7,226百万円 29年8月期 7,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,734	4.8	126	△57.9	131	△56.9	79	△60.0	12.30
通期	7,000	9.8	700	△23.6	711	△24.9	467	△25.2	72.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期1Q	7,360,000株	29年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	935,350株	29年8月期	935,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期1Q	6,424,650株	29年8月期1Q	7,124,650株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に緩やかな回復基調が続き、設備投資は緩やかに増加するとともに、企業収益には改善が見られました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画に基づいて、M&Aによる事業領域の拡大を継続し、積極的な営業活動とコスト削減に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,496百万円（前年同四半期比43.6%増）、営業利益は181百万円（同280.1%増）、経常利益は181百万円（同247.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120百万円（同347.4%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

## &lt;金属加工事業&gt;

受注案件の納入が想定通りに推移するとともに、鋼材価格の上昇による影響が想定よりも遅れたことや内製化による製造工程の合理化を進めたことにより、売上高は1,143百万円（前年同四半期比56.8%増）、セグメント利益は215百万円（同209.4%増）となりました。また、太陽電池アレイ支持架台の大型案件を受注したことにより、当第1四半期連結累計期間末における受注残高は過去最高の6,780百万円（同101.7%増）となりました。

## &lt;ゴム加工事業&gt;

営業活動の強化を進め、電力会社向け部材、住宅メーカー向け建築部材等が堅調に推移したものの、修繕費等の増加により、売上高は308百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は38百万円（同30.0%減）、当第1四半期連結累計期間末における受注残高は72百万円（同9.5%減）となりました。

## &lt;建設事業&gt;

グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組み、売上高は44百万円、セグメント損失は2百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）、当第1四半期連結累計期間末における受注残高は46百万円（前年同四半期比85.0%減）となりました。

なお、売上高については、前第1四半期連結累計期間の比較情報が存在しないため、前年同四半期比を記載しておりません。

(注) セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異△70百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,499百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が109百万円、商品及び製品が107百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が113百万円、電子記録債権が128百万円、原材料及び貯蔵品が87百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は2,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が59百万円、投資その他の資産が91百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は9,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が179百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が35百万円、その他が34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは、親会社株主に係る四半期包括利益120百万円及び剰余金の配当160百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.8%（前連結会計年度末は74.7%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月13日に公表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,667,011	3,776,055
受取手形及び売掛金	1,073,474	960,221
電子記録債権	846,210	717,681
完成工事未収入金	21,027	15,327
商品及び製品	166,588	273,776
仕掛品	376,505	388,142
原材料及び貯蔵品	418,200	331,137
その他	78,247	37,290
貸倒引当金	△56	△52
流動資産合計	6,647,210	6,499,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	956,727	943,356
機械装置及び運搬具(純額)	941,943	907,992
土地	645,888	645,888
リース資産(純額)	114,217	104,368
その他(純額)	32,244	30,188
有形固定資産合計	2,691,020	2,631,793
無形固定資産		
のれん	153,861	144,831
その他	54,976	50,003
無形固定資産合計	208,838	194,834
投資その他の資産		
投資有価証券	65,416	56,377
その他	112,123	30,102
貸倒引当金	△23	—
投資その他の資産合計	177,516	86,480
固定資産合計	3,077,374	2,913,109
資産合計	9,724,585	9,412,690

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,138	190,948
工事未払金	43,588	18,692
短期借入金	340,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	149,147	147,480
未払法人税等	253,036	73,990
賞与引当金	7,145	44,689
その他	377,591	357,512
流動負債合計	1,346,648	1,143,314
固定負債		
長期借入金	516,014	480,806
退職給付に係る負債	46,669	47,270
資産除去債務	1,792	1,792
その他	547,060	512,895
固定負債合計	1,111,537	1,042,765
負債合計	2,458,185	2,186,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	5,734,137	5,693,989
自己株式	△747,361	△747,361
株主資本合計	7,260,711	7,220,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,688	6,046
その他の包括利益累計額合計	5,688	6,046
純資産合計	7,266,399	7,226,610
負債純資産合計	9,724,585	9,412,690

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,041,802	1,496,226
売上原価	770,086	1,074,961
売上総利益	271,715	421,264
販売費及び一般管理費	224,029	239,990
営業利益	47,686	181,274
営業外収益		
受取利息	53	32
受取配当金	1,648	1,478
受取家賃	1,300	1,239
受取補償金	1,217	—
その他	2,262	1,795
営業外収益合計	6,482	4,545
営業外費用		
支払利息	1,538	1,444
保険解約損	—	1,820
匿名組合投資損失	—	1,251
その他	460	—
営業外費用合計	1,999	4,515
経常利益	52,169	181,304
特別利益		
固定資産売却益	1,109	—
投資有価証券売却益	—	2,561
特別利益合計	1,109	2,561
特別損失		
固定資産除却損	154	355
特別損失合計	154	355
税金等調整前四半期純利益	53,124	183,510
法人税、住民税及び事業税	25,494	68,241
法人税等調整額	705	△5,199
法人税等合計	26,199	63,042
四半期純利益	26,924	120,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,924	120,468

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	26,924	120,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,779	358
その他の包括利益合計	1,779	358
四半期包括利益	28,704	120,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,704	120,826
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	728,890	312,912	—	1,041,802	—	1,041,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135	—	135	△135	—
計	728,890	313,048	—	1,041,938	△135	1,041,802
セグメント利益又は損失(△)	69,508	55,012	△5,751	118,769	△71,082	47,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△71,082千円は、セグメント間取引消去5,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,042千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,143,104	308,753	44,368	1,496,226	—	1,496,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,860	140	500	2,501	△2,501	—
計	1,144,964	308,894	44,868	1,498,727	△2,501	1,496,226
セグメント利益又は損失(△)	215,075	38,519	△2,074	251,520	△70,246	181,274

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,246千円は、セグメント間取引消去11,211千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,457千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	924,817	163.2
ゴム加工事業	154,251	98.4
合計	1,079,069	149.1

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしておりません。

## ②受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	5,297,942	651.8	6,780,095	201.7
ゴム加工事業	310,839	93.2	72,537	90.5
建設事業	45,729	14.6	46,871	15.0
合計	5,654,511	387.5	6,899,504	183.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	1,143,104	156.8
ゴム加工事業	308,753	98.7
建設事業	44,368	—
合計	1,496,226	143.6

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
新日鉄住金エンジニアリング株式会社	—	—	201,505	13.5

前第1四半期連結累計期間の新日鉄住金エンジニアリング株式会社については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
4. 建設事業については、前第1四半期連結累計期間の比較情報が存在しないため、前年同四半期比を記載しておりません。